

JAMSTEC
SPECIAL平成22年度創立記念式典 加藤理事長ご挨拶
(平成22年4月1日 於：横須賀本部大講義室)

本日をもって第2期中期計画期間の2年目が始まります。昨年度は、政権交代による補正予算の執行停止・返納、事業仕分けと非常に激しい1年間でしたが、まずは皆様と創立の日を迎えられたことを喜ばしく思います。これも役職員や関係者の皆様の努力の賜物であると深く感謝いたします。

さて、中期計画の2年目開始にあたり、まず2点お話ししたいと思います。

1点目は、今年度は前年度比で22.3億円減という予算状況でしたが、各部署の経費削減の努力があり、この予算に対応した事業計画を組むことができましたことです。今後さらなる合理化や効率化に尽力いただくことをお願い申し上げます。

2点目ですが、年度開始早々から、行政刷新会議による独立行政法人の仕分けが始まります。これをJAMSTECの必要性を再認識していただける機会と捉え、我が国の発展に貢献していけることを説明していかなければなりません。大きな方向性として、政府の新成長戦略である「グリーン・イノベーション」による環境・エネルギー大国戦略などに対し、JAMSTECのポテンシャルを最大限活かし、我が国周辺海域の海底資源・気候変動・気候変化へに関する研究・技術開発があると思います。また、「グリーン・イノベーション」だけでなく、「ライフ・イノベーション」においても「地球シミュレータ」が貢献できる可能性を示しております。これまでの「地球を知る」に加えて、「地球との共生に資する」というモットーも取り入れて舵を取っていきたいと考えております。

このような変化の渦中ではありますが、昨年度のJAMSTECの活動は順調でした。第2期中期計画で誕生した地球環境変動領域、地球内部ダイナミクス領域、海洋・極限環境生物圏領域の3領域からは、NatureやScienceなどの論文誌に研究成果が掲載されました。

また技術開発においても、今後の海洋探査に有効な成果があがっており、さらに「地球シミュレータ」の性能向上や、



「ちきゅう」による世界初のライザー科学掘削の成功、「地震・津波観測監視システム」の海底ケーブル敷設開始など、大型の研究設備の運用も順調であります。

そして今年度の3点目の課題は、これらの成果発信を行うとともに、いかにしてJAMSTECの総合的な発信力の向上につなげていくかということです。JAMSTECの広報の対象としては、一般国民、メディア、サイエンスコミュニティ、官公庁など様々な立場の方がいます。そこで重要なのは、JAMSTECの事業に一貫したストーリーを持たせて伝えていくことだと思います。広報に関する1本の柱を作り、それに個別の施策などが位置づけられるような体系的な広報戦略を策定し、実行していく必要があります。

1971年の10月に前身の海洋科学技術センターが発足して、来年で40周年を迎えます。そのような極めて重要な1年です。本年度が皆様にとって充実の1年になりますよう祈念致しまして、創立記念にあたっての挨拶とさせていただきます。

JAMSTEC
TOPIC

新しいラボ・プロジェクトの設置について

JAMSTECは、世界でもトップクラスの研究設備、海洋・深海調査機器を有しており、海洋に関する基盤的研究開発を行ってきましたが、近年、中国・韓国の相次ぐ深海潜水艇の開発、米国によるマリアナ海溝潜航など海洋分野の技術進展が著しくなっています。このような状況を踏まえ、この度JAMSTECでは、観測システムに関する革新的技術をサイエンスとテクノロジーを一体として取り組み、世界最先端の観測システムに関する技術開発を推進するために、新たに

「観測システム・技術開発アワード」を設立しました。採択された課題のうち特に実現性・発展性が高いと判断された課題については、2010年3月より、新たに観測システム・技術開発ラボシステムを設置するとともに、地球シミュレータセンターにチームを組織し、開発・研究を強力に進めています。また2009年9月より「次世代海洋研究船推進プロジェクトチーム」を設置し、新しい船の建造に向けた検討も開始しています。(技術企画室)

JAMSTEC
SPECIAL

第12回全国児童「ハガキにかこう海洋の夢コンテスト」入賞者発表

全国児童「ハガキにかこう海洋の夢コンテスト」は、文部科学省、横須賀市、むつ市、横浜市都市経営局、名護市、南国市などの後援のもと、JAMSTECが全国の小学生を対象として毎年開催しているコンテストです。「絵画部門」「CG部門」「アイデア部門」の3つの部門において、ハガキサイズの紙に「海洋」への夢やアイデアを表現した作品を募集しています。

12回目を迎える当コンテストには、全国から総数26,709点の応募

があり(絵画部門24,357点、CG部門182点、アイデア部門2,170点)、厳正な審査を経て入賞15点、入選55点が決定されました。全入賞入選作品70点はJAMSTECのホームページにて公開しています(<http://www.jamstec.go.jp/j/kids/hagaki/index.html>)。

また、3月27日にJAMSTEC横須賀本部にて入賞者の表彰式を行い、式典のほか、着岸中の深海調査研究船「かいれい」の船内公開など施設見学会も行いました。(広報課)



優秀賞

横須賀市長賞

絵画部門
作 品



「ちゅうちゅたんあんなくうのいろのトンネル」
中神 舞 愛知県名古屋市長立上社小学校 6年

むつ市長賞

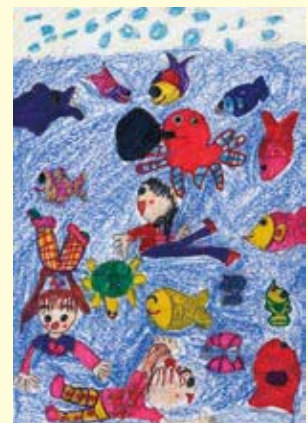
絵画部門
作 品



「マンタと海のさんぽ」
荻野 千智 愛知県岡崎市立連尺小学校 2年

横浜市長賞

絵画部門
作 品



「さかなのいろ」
梶谷 彩波 神奈川県横浜須賀野市立大橋小学校 1年

名護市長賞

絵画部門
作 品



「水中書き初め」
矢田 拓誠 青森県むつ市立大平小学校 5年

南国市長賞

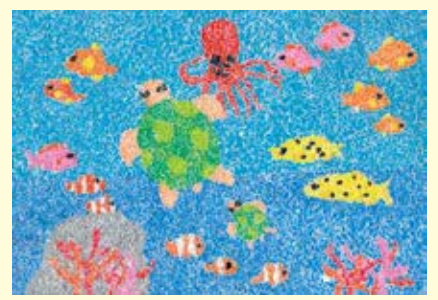
アイデア
部門作品



「さい玉けんから海へGO！」
石原 彰 埼玉県さいたま市立太田小学校 2年

海洋研究開発 機構理事長賞

絵画部門
作 品



「海の生き物」
金井 海 大阪府大阪市立玉出小学校 6年

最優秀賞

文部科学大臣賞

絵画部門
作品

「海のブロードウェイ」

永橋 七海架

神奈川県横浜市立金沢小学校 5年



特別賞

日本理科美術
協会賞

絵画部門
作品



「イルカの親子」

浪岡 優花 大阪府大阪市立大宮西小学校 3年

横須賀市教育委員会
委員長賞

絵画部門
作品



「波と海流でエコ発電！」
佐藤 元重 青森県八戸市立美保野小学校 6年

むつ市教育委員会
教育長賞

絵画部門
作品



「ファッションセンターウロコ」

永橋 凱 神奈川県横浜市立金沢小学校 3年

横浜市教育委員会
教育長賞

絵画部門
作品



「魚のつて海を探検」
仲西 美波 静岡県静岡市立服織小学校 2年

名護市教育委員会
教育長賞

アイデア
部門作品



「海のクーラー」

樺澤 汐音 沖縄県名護市立安和小学校 6年

南国市教育委員会
教育長賞

絵画部門
作品



「深海火山のてっぺんでほくと
ポップコーンパーティがしたい」

鈴木 俊哉 愛知県大府市立大府小学校 3年

海洋の夢賞

アイデア
部門作品

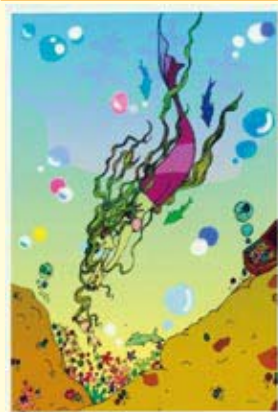
①曇りがじ色に光り、海の上がキラキラ光って海一面のきれいな大きなじかができる。
②にじが出る時は、空が紺くせ色に青まる。
③七色のげんしゅうははれているときしか見れない。



「こんな海がいいな」
高杉 愛野 青森県おいらせ町立木ノ下小学校 4年

CG-ARTS
協会賞

CG 部門
作品



「深海の宝探し」
松田 佑美 佐賀県武雄市立北方小学校 6年

JAMSTEC
PRESS

世界で初めて地球中心の超高压高温状態を実験室内で実現

ダイヤモンド
アンビル装置

地球の中心は、金属コアでできています。その温度は5,000°C以上、圧力は364万気圧(364ギガパスカル)に達していると言われています。今回、JAMSTECと東京工業大学、高輝度光科学研究センターは、共同でこの地球の中心の環境と同じ空間を作り出すことに成功しました。それは「ダイヤモンドアンビル装置」という特殊な装置を作ることで達成できました。ダイヤモンドは世界で最も硬い物質です。したがって2つのダイヤモンドで挟み込んだわずかな空間は、過酷な条件に耐えられることが出来ます。特にダイヤモンド先端でとても小さな空間を作ると(体積が小さいほど外に与える力は小さくすむ)、

地球中心の圧力に近い力でも、ダイヤモンドは壊れません。特に、ダイヤモンド先端の形状を精密に制御することにより、地球中心の圧力でも壊れない画期的なダイヤモンドアンビル装置が出来ました。ダイヤモンドは透明なので、レーザーにより内部の温度を上げることが出来ます。またSpring8のような高輝度放射光で、超高温が達成でき、なおかつ高分解能な分析が可能となりました。これで地球内部のあらゆる物質が人工合成可能になりました。地球形成のシナリオ作りに大きく貢献できるでしょう。(地球内部ダイナミクス領域)

■ イベントのお知らせ

(詳細はホームページ<http://www.jamstec.go.jp/>をご覧ください)

● 横須賀本部 施設一般公開

JAMSTEC横須賀本部において、船舶や研究室を見学できる施設一般公開を開催いたします。

日時：5月22日(土)9:30～16:00(15:30受付終了、雨天実施)
場所：横須賀本部(横須賀市夏島町2-15)
交通：京浜急行追浜駅から会場行きの無料送迎バスを運行
内容：研究棟、実験室見学ツアー、有人潜水調査船「しんかい2000」コックピット見学会や、海洋調査船「かいよう」体験乗船、深海調査研究船「かいらい」船内公開、深海生物写真展&トークイベント、公開セミナー、サイエンスカフェ、子供向け科学コーナー「キッズパーク」など。

※「かいよう」体験乗船は抽選制です。午前の部は5月10日に応募締切、午後の部は当日11時まで会場受付・抽選となります。

詳細は特設ホームページ(http://www.jamstec.go.jp/j/pr/public_open/yokosuka/2010/)をご覧ください。

● 横浜研究所 地球情報館 毎月第3土曜日開館

横浜研究所 地球情報館では毎月第3土曜日に特別企画を実施いたします。ぜひご来館ください。(入場無料、予約不要)

日時：平成22年5月15日(土)10:00～17:00
・子ども向けおはなし会(11:30～12:00)
・その他実験教室や「地球シミュレータ」見学ツアーなど。

● 日本地球惑星科学連合2010年大会(JPGU)

JPGUにてJAMSTECの広報ブースを展示いたします。

日時：2010年5月23日(日)～28日(金)
場所：幕張メッセ国際会議場(千葉県美浜区中瀬2-1)

■ 受賞報告

受賞日：2010.04.05
賞：平成22年度科学技術分野 文部科学大臣表彰
受賞者：深澤 理郎(地球環境変動領域長)
業績：太平洋の深海における海の温暖化の研究(研究部門)

受賞日：2010.04.05
賞：平成22年度科学技術分野 文部科学大臣表彰
受賞者：磯崎 芳男(海洋工学センター長)
業績：新掘削方式を用いた科学掘削船開発による科学掘削技術の振興(科学技術振興部門)

受賞日：2010.04.03
賞：第15回日本地層評価シンポジウムの最優秀論文賞
受賞者：眞本 悠一、河野 泰浩、和田 一育(地球深部探査センター)
業績：実際の掘削結果に基づくロータリーコアバレルの改良によるコア回収率・品質の向上

■ 人事異動

日付	氏名	内容
2010.3.30	中村 英俊	(事業推進部国際事業担当役 退職)
2010.3.31	今村 努	(理事 退任)
2010.3.31	堀 由紀子	(監事 退任)
2010.3.31	米林 敦男	(地球深部探査センター「ちきゅう」船舶技術担当役 退職)
2010.3.31	中村 信之	(研究支援部事業化担当役 退職)
2010.3.31	喜多野 和明	(海洋工学センター研究船運航部調査役 退職)
2010.3.31	菅原 淳二	(事業推進部国際課調査役 退職)
2010.4.1	堀田 平	理事
2010.4.1	中原 裕幸	監事
2010.4.1	藤井 泰規	経理部部長
2010.4.1	山西 恒義	事業推進部次長
2010.4.1	鷲尾 幸久	地球深部探査センター運用管理室次長
2010.4.1	土屋 利雄	海洋工学センター観測技術担当役
2010.4.1	山尾 正起	地球深部探査センター技術開発室室長
2010.4.1	磯崎 芳男	海洋工学センターセンター長
2010.4.1	喜多河 康二	総務部横浜地域調整担当役
2010.4.1	須田 登	監査室室長
2010.4.12	今村 努	横浜研究所所長

■ 編集後記

新体制の下、第2期中期計画期間の2年目がスタートしました。巻頭には、昨年9月の政権交代以降の独立行政法人を取り巻く事業仕分け等、厳しい社会情勢の中で迎えた、4月1日の創立記念式典における加藤理事長のご挨拶を掲載いたしました。是非ご一読いただければ幸いです。また、喜ばしいニュースとして、文部科学大臣賞や最優秀論文賞の受賞者紹介、昨年度に実施した第12回全国児童「ハガキにかこう海洋の夢コンテスト」表彰式と入賞作品を掲載させていただきました。本年度も機構業務にご支援のほど宜しくお願い申し上げます。(Y.T.)